松柏小学校　学校便り　　Ｒ７．５．２２（木）

えがなかちゃん　No. ６

―笑顔・なかま・チャレンジ―

校長　加地孝昌

連日、小学生の交通事故が報道

◆　19 日(月)午後、福岡県で、軽乗用車が下校中の小学生の列に衝突し小学生４人と車を運転していた女性が病院に搬送されました。
◆　20 日(火)午後、長野市の県道で、横断歩道を歩いて渡っていた小学１年生が左折してきた軽乗用車にはねられ軽いけがをしました。
◆　21 日(水)午後、神戸市の市道交差点で、自転車に乗っていた小学生の男児が乗用車にはねられました。

連日、小学生の交通事故が報道されています。きちんと通学路を歩いたり、横断歩道を渡ったりしていての事故です。当然、交通ルールを守っていない車に非がありますが、命を守るため、子どもたちには、より高い交通安全に対する意識を持ってほしいと思います。子どもは身長の関係で、大人よりも道路を見渡せる範囲が狭く、より高い意識と命を守る行動が必要になってきます。

学校では交通安全に関して指導をしておりますが、ご家庭でも、以下のような質問をして、子どもたちの意識を高めていただきたいと思います。

Q1　道路を渡るとき、どうして「右・左・右」と、右が先なの？

Ａ１　日本は、車は左側通行なので道路を渡るとき、手前の車道を走る車は、右側から来ます。右側から来る車が無くなってはじめて、道を渡れる可能性が出てきます。まず、右から来ている車がいないかを確認し、「右・左・右」と安全確認をしていきましょう。

Q2「右・左」ではダメなの？

Ａ２　車のスピードは速いです。右→左で確認をしている間に、右からスピードを出した車が、そこまで来ているかしれません。大人でも見通しの悪い場所では、「右・左・右」を見て、再度「右・左・右」、さらに運転しながらも確認をしていると思います。そんな話もしていただいたらと思います。

Q3　自転車に乗るとき、ヘルメットをかぶっていれば頭を守れるから、あごひもは、ゆるくてもいいんじゃないの？

Ａ３　交通安全教室の話の中で、自転車に乗った人が車にはねられ、フロントガラスが割れる大きな事故があったけれどあごひもをきっちりしていたおかげで軽いケガで済んだという話がありました。万が一、ぶつかったり、倒れたりしても、あごひもをしっかりしておけばヘルメットが頭を守ってくれます。

安全意識を高めるため、「〇〇を守りなさい」ではなく、「なぜ～だと思う？」「どうして？」と尋ねながら、子どもが自分で答えを見つけたり、気付いたりするといいですね。